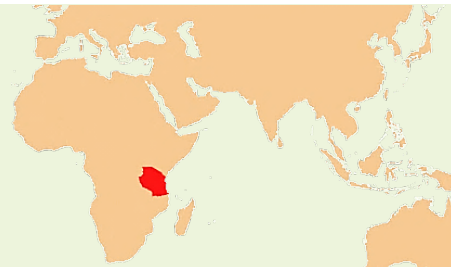




タンザニア [BOP層] 家庭訪問調査

タンザニア連合共和国 United Republic of Tanzania

- 面積: 94万 5,000平方 キロメートル[日本の約2.5倍]
- 人口: 4,768万人 (2015年 IMF)
- 首都: ドドマ[法律上の首都。国会議事堂がある。]
※政府官庁があり、事実上の首都機能と経済面での中心はダルエスサラーム。



- 調査実施日 : 2016年 9月10日
- 調査場所 : ダルエスサラーム市 ミコチェニ地区 (Dar es Salaam, Mikocheni)
ダルエスサラーム市の中心から北に向かって約7kmの地点。ミコチェニ地区は、大きなスーパーマーケットやショッピングセンター、病院などがあり、最近の建築ラッシュでビルも増えてきた。役人や企業の役員クラスの人々が住む、やや高級な住宅街地区もあり、ペリーさん一家が住む庶民的なエリアもある。ペリーさん一家が住むのは、トタン屋根の長屋が立ち並ぶBOP層が多く住むウスワヒリーニと呼ばれる地区である。
- 調査対象 : ペリー(仮名)さんの一家(4人家族)
- 為替レート : 1ドル=1,991.4 タンザニア シリング(2015年期中平均 IMF)



ペリー(仮名)さんの一家



家の前に立つペリーさん(右)と妻(左)



ペリーさんと長女



妻

家族構成	夫: ペリー(53歳) 妻: (42歳) 次男: (19歳) 長女: (6歳: 小学校2年生) ※長男: 25歳はホテル勤務をしていて、 ダルエスサラーム市内に独立して住んでいる。
世帯収入	合計: 470,000 シリング / 月 夫: 340,000 ~ シリング / 月 妻: 120,000 シリング / 月 次男(月収12万シリングから家に入れる金額): 5,000 ~ 10,000 シリング / 月 ※その他、長男からも毎月ではないが、時々 1万シリング程度の仕送りがある。
職業	夫: 研究機関施設の夜警と揚げキャッサバ販売 妻: オフィスと工場の清掃業 次男: スーパーマーケット店員
勤務日数	夫: 週4日(夜警) 週5日(揚げキャッサバ販売) 妻: 週5日



家族それぞれの職業

■ ベリーさん

● 夜警:

ベリーさんが夜警を勤める建物は、ミコチェニ地区の自宅から自転車で7分程度の所にある。1996年からずっと同じ建物(庭付きの一戸2階建て)で、現在は研究機関が入居している。研究機関が入居する前は、外国人の家族やタンザニア人の家族が雇い主のこともあった。

現在は日、火、木、土の18時～翌朝6時まで勤務している。住居手当など諸手当込みで月31万シリング程度の給料となっている。勤務日が祝日にあたると、20%の手当が付くため、月ごとの収入額に多少の違いがある。その他、クリスマス、イースター、休暇手当としてそれぞれ17万シリングが支給されている。



夜警の通勤に使用している、1980年購入の中国製自転車。修理しながら使っている。

● 揚げキャッサバ販売:

日中に、自宅から徒歩10分程の所にある公立小学校で、主に児童を相手に揚げキャッサバを売っている。市場(Tandale)でキャッサバをまとめて購入(50kgで1万～1万5千シリング)し、小学校の校庭の一角で火をおこし、ふた口程で食べられるサイズに切ったキャッサバを揚げて販売している。価格は5つで100シリング。料理用バナナが手に入ればそれも揚げて、5切れ100シリングで売る。月～金曜日の8～14時頃まで販売し、月の純益は約3万シリング程度になる。



自宅近くの公立小学校と校庭



校庭の一角でキャッサバを油で揚げる



揚げたキャッサバとバナナを並べる商品ケース。赤い器には塩が入っている。



揚げキャッサバ
(5個入り100シリング)

■ 妻

● オフィスと工場の清掃業:

自宅から徒歩45分の所にあるオフィスと、衛生用品製造工場の清掃の仕事をしている。勤務時間は、月～金曜日の8～17時まで、給料は月12万シリング。この仕事は、3年前に始めた。それまでは子どもも小さかったので、仕事はしていなかった。

■ 次男

● スーパーマーケット店員:

勤めているスーパーマーケットは徒歩で通える範囲にある。給料は月12万シリングで、その中から月5,000～1万シリングを家に入れている。

■ 長男(家からはすでに独立)

● ホテル勤務:

不定期ではあるが、時々1万シリング程度の仕送りをしてくることがある。

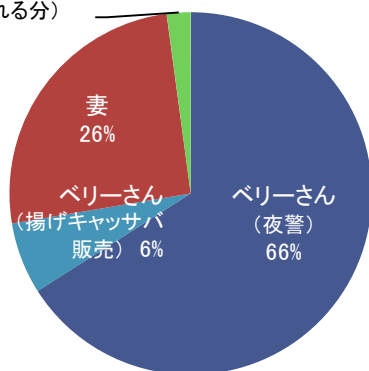


家計収支

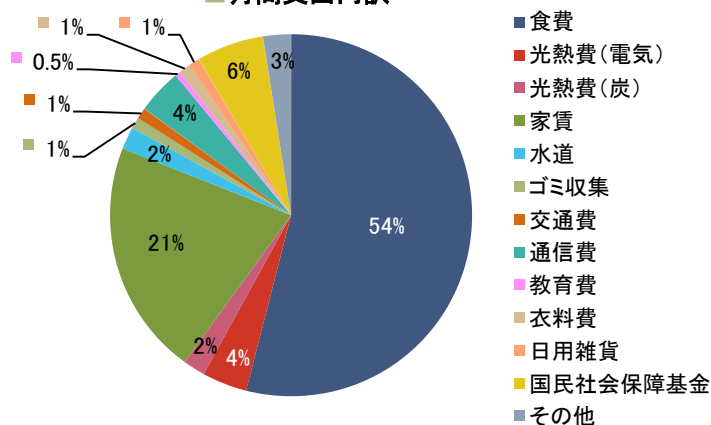
■ 月間世帯収入内訳

名前	職業	月収(シリング)	1週間の仕事日数
ベリーさん	研究機関施設の夜警	310,000 ~	4(夜勤)
	揚げキャッサバ販売	30,000	5
妻	オフィスと工場の清掃業	120,000	7
次男	スーパーマーケット店員	5,000~10,000	—
合計:		470,000 ~	

■ 次男 (家に入れる分) 2% [月間世帯収入の内訳]



■ 月間支出内訳



● 食費:

小学生の長女は、毎日学校に売りに来るサモサ、ケーキ、アイスクャンデーなどを購入するため、500シリングのお小遣いをもらっている。500シリングでご飯と豆のおかずのランチセットも買うことができる。



左から豆の煮込み(マハラゲ)、白飯、香辛料入りご飯(ピラウ)。白飯またはピラウ+マハラゲで500シリング。プラスチックの皿に盛って提供。皿は洗って再び使う。

● 教育費:

公立の小中学校は授業料は無償だが、ユニフォーム(白いシャツとブルーのTシャツにブルーのブリーツスカート)、白いソックス、黒の革靴などの新調に年間1万シリングほどかかる。その他、ノートや鉛筆、カバンなどの購入も必要である。



長女の学校の制服であるTシャツとブリーツスカート

● 国民社会保障基金(NSSF: National Social Security Fund):

毎月、雇用者と被雇用者がそれぞれ雇用者の月給の10%分の費用をNSSF内の口座に積み立て、退職後にその積立金が戻ってくるというシステム。利子も付き、配偶者と子ども3人まで登録できる医療サービスもある。NSSFの指定病院に登録すると、治療費や薬代などをNSSFが負担する。



インフラ事情

水道

●生活用水:

DAWASCO(ダルエスサラーム水道公社)の供給する水道水を使っている。2015年11月に新大統領が就任してから断水などがかなり少なくなったように感じるという。

中庭にある大家所有の水道の水を使っている。最近ではほぼ毎日水が出ているが、念のためにいくつものバケツに貯水をしている。室内のバケツには調理用の水、中庭に置いてあるバケツにはシャワーやトイレ用の水を貯めている。水道代と下水使用料として、大家に毎月1万シリングを払う契約となっている。隣に住む同じ大家の住人も、同じ条件で上下水道を使用している。近所の住人も水を汲みに来るが、バケツ1杯(20L)につき100シリングを大家に支払っている。

●飲用水:

水道水を煮沸したものを使っている。ミネラルウォーターを購入することはほとんどない。



寝室のベッド横に置かれた貯め水を入れたバケツ

電気

TANESCO(タンザニア電力公社)の供給する電気を使っている。毎月大家に2万シリングを支払う契約となっている。最近では停電することがほとんどなくなった(停電しても1時間以内や2~3時間の短い時間)。夜の停電用に充電式懐中電灯を備えている。



充電式懐中電灯

下水・衛生設備

トイレはいわゆる和式である。トイレ兼シャワー(水浴び)室となっている。近所の家々も同じ方式である。水はバケツに汲んだものを自分で運ぶ。体を洗うためにお湯を沸かしたりすることはほぼなく、涼しい季節でも水浴びをしている。トイレは中庭に面して2つあり、隣に住んでいる同じ大家の住人夫妻と共同で使っている。水道公社の管轄する下水道が通っている。

ゴミ処理

毎週1回、市と契約しているゴミ収集車がやってきて各長屋を回り、ゴミを回収していく。分別せず、すべてのゴミは一緒くたで、出せる量も決まりはない。収集料金として1ヵ月10,000シリングを支払っている。



住居



ダルエスサラーム市 ミコチェニ地区
ウスワヒリーニ

ベリーさんの借家はミコチェニ地区のウスワヒリーニにあり、庶民的エリアである。部屋ごとに貸す、いわゆるスワヒリ長屋が多く存在している。街の中心からあまり離れていないミコチェニ地区の家賃は高めで、安くても1部屋4万シリング以上する。ベリーさんは、このエリアに1992年から住んでおり、今の家に移ったのは2000年である。2部屋借りていて、家賃のみで10万シリングを大家に支払っている。家賃は1年分を前払いしなければならないシステムになっていて、契約も1年ごとに更新する。そのため、契約更新時は資金繰りに少し苦労する。職場の雇い主から借金をすることもある。

同じ地区の徒歩5分程の所に祖母(妻の母)の家がある。間取りは居間+3部屋。30年以上前、まだ土地代の安い頃に妻の両親が購入し、当初は木造の家屋を建てていた。現在、祖父(妻の父)はすでに他界しており、祖母が1人で水売りなどの小さな商売をしつつ、比較的経済的に余裕のある妻の末の妹の仕送りを受けながら暮らしている。また、近所に住む孫たちが頻繁にこの家に寝泊まりしに来ている。ベリー夫妻は祖母に対し金銭的な支援は行っていないが、食事を届けるなどしている。



祖母の家

JETRO

■ 自宅の間取り



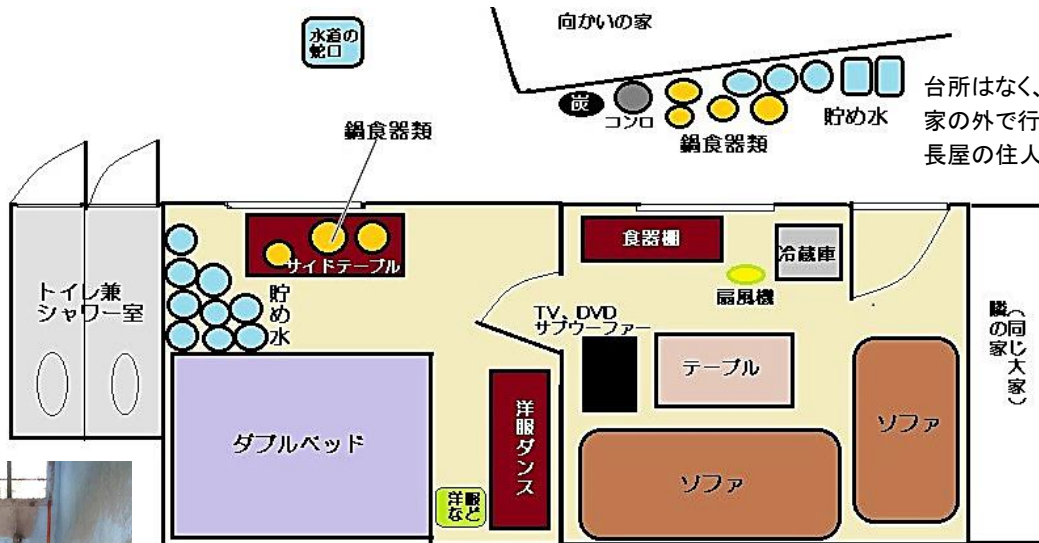
ベリーさん一家の家はこのすぐ裏手



大家所有の共同水道



家の前に置かれた貯め水と食器類



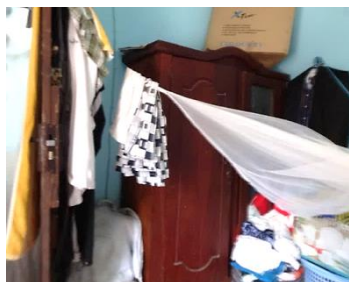
トイレ兼シャワー室



寝室のダブルベッド



居間



寝室の洋服ダンス

- 2002年にダルエスサラームの郊外のバガラ(Mbagala)に半エーカーの土地を20万シリングで購入した。現在、少しずつ資材を購入して家を建てている。6部屋の平屋を建てつもりだが、まだ半分も終わっていない。新居が完成した後、引っ越す予定である。



品名	ブランド	購入場所 (新品/中古)	購入価格 (シリング)	購入年	備考
テレビ	SONY	カリアコー (中古)	150,000	2012年	日本メーカー製品は信頼できるので。
テレビチューナー	Startimes	メーカー直営 店(新品)	120,000	2013年	テレビ放送がデジタル化された年に購入。 これがないとテレビが見られない。
DVDプレーヤー	—	カリアコー (新品)	80,000	2006年	SAMSUNG製と思って購入したが、同メー カーのものではなかった。10年経っても 使用できる。教会ソングのDVDやタンザ ニア映画などを観ている。
サブウーファー	Sea Piano	カリアコー (新品)	120,000	2011年	ラジオ内臓。テレビの音もこれを通すと 響きがよくなるのでよく使う。
携帯電話 (ベーシックフォン)	TECNO	カリアコー (新品)	22,000	2010年	ベリーさんが使用。2種類のSimカードが入 る。値段が安いが丈夫。スマートフォンは 使ったことがないので、慣れたこの携帯電 話の方がいい。
スマートフォン	TECNO	カリアコー (新品)	190,000	2016年	妻が使用。周りの人たちが持っているの を見て欲しくなり、自分の収入などから少 しずつお金を貯めて購入。
冷蔵庫	メーカー記載が 見当たらず	マゴメニ (中古)	340,000	2013年	冷えすぎるので、少し困っている。
アイロン	Philips	もらい物 (中古)	10年ほど前に雇い 主からもらった	2006年	今も十分使用できる。
扇風機	ANIKO	カリアコー (新品)	42,000	2008年	足との接合部分が折れてしまったので、 リボンで巻いて固定している。
充電式懐中電灯	QIANIJA	行商人から 購入(新品)	10,000	2015年	停電の時に便利。乾電池ではなく、 充電式ということもいい。
照明(蛍光灯)	—	近所の店で 購入	150,000	—	省電力タイプの電球と蛍光灯。家の外壁の 蛍光灯設置は、費用を大家と折半している。



テレビ



サブウーファー



ベリーさんの
携帯電話



妻のスマートフォン



冷蔵庫



扇風機



テレビチューナー(上)と
DVDプレーヤー(下)



アイロン



充電式懐中電灯



照明(蛍光灯)



照明
(電球型蛍光灯)



食事

買い物

食品の購入金額は、1ヵ月で約25万シリング。

● 生鮮食品

野菜類のほとんどは、家の近所の店でほぼ毎日、新鮮なものを必要な分だけ購入している。

● 加工食品

基本的にほとんど購入しない。長女が学校で買うサモサやケーキ、スナック菓子、アイスキャンデーくらいである。値段はそれぞれ100シリング。どれも、販売している女性たちの手作りだそうだ。

妻は月に2回ほど500シリングのソーダ(ペプシなどの瓶入り炭酸飲料)を近くの店で買って飲むことがある。

市場で売っている揚げ魚などは購入することがあるが、その他の加工食品は使っていない。



サモサ

中はチョロコという豆。香辛料が効いていてなかなかおいしい。



「ケーキ」と呼ばれる
小麦粉の揚げ菓子



スナック揚げ菓子



アイスキャンデーとジュース
手作りのものを容器、包みに入れ
売っている。

調理用熱源

調理には炭を使っている。炭は週に2,000シリング程度ずつ近くの店で購入している。ガスは導入時にまとまった金額が必要なので、一度導入すれば炭より割安になると思われるが、今のところ使用していない。近所の人たちも同様である。

灯油コンロも所有しているが、灯油代が高つくので、ほとんど使っていない。



炭のコンロ

料理

食事のメニュー例:

[平日の朝食]チャイ(砂糖入り紅茶)、市販のマンダジ(揚げパン)、
チャパティ(インド風の薄いパンケーキ)

[土・日曜日の昼食]ウガリ(トウモロコシの粉を熱湯でこねて蒸した主食)、
マハラゲ(豆の煮込み)、

青菜の炒め煮(調査日はマテンペーレというサツマイモ科の葉)

[夕食]ご飯(お米に油と塩を少し入れて炊いたもの)、マハラゲ、青菜のおかず

魚料理は週1回程度で、肉(牛・鶏肉)を食べるのは月末のベリーさんの給料が出た後くらいである。



マテンペーレ
(サツマイモ科の青菜)

食事

平日の昼食は、ベリーさんはキャッサバを売りに行っているのとらないことが多いが、たまに義母の家で食べることもある。妻も基本的に昼食をとらないが、焼きトウモロコシ(約500シリング)を買ったり、職場近くの食堂でウガリとおかずの定食(約2,000シリング)を食べることがある。小学生の長女は500シリングの小遣いで、学校に売りに来るスナック菓子やサモサ、アイスキャンデーなどを買って食べたりする。学校は13時に終わり(3年生からは14時)、給食は出ない。自宅に帰っても誰もいないので、下校すると祖母の家に行き、そこでウガリとマハラゲなどの昼食を食べることもあれば、小遣いなどで簡食を買い、おなかを満たすこともある。夕食は両親と兄と一緒に家でとるが、祖母の家で食べることもある。



昼食(左からウガリ、マハラゲ、
マテンペーレの炒め煮)



衣服、ファッション

衣服は必要に応じて購入しており、普段はあまり買わないようにしている。1ヵ月換算で衣服に充てる費用は1万シリング程度である。

● ベリーさん

〔普段着〕Tシャツやポロシャツなどと半ズボン、ゴムサンダルのことが多い。普段着ている服の多くが古着である。ムエンゲ(Mwenge)やカルメ(Karume)などの古着市場で買うことが多い。Tシャツは1,000シリングくらいからある。3,000シリングも出せば、そこそいい服が買える。夜警の職場には、蚊よけも兼ねた長袖長ズボンの服が置いてあるので、職場に着いたらそれに着替える。調査日に着ていた服のうち、トップスのポロシャツはカリアコー(Kariako)の店で1万シリングで購入した新品だが、ボトムスのハーフパンツは、イララ(Ilala)の市場で1,000シリングで購入した古着。探せば、500シリングでも履けるものが見つかることもある。

〔フォーマル〕教会やお祝いごとの式などに行く時は、下にランニングシャツを着て、襟付きのシャツに長ズボンを履く。



ベリーさんの普段着

● 妻

〔普段着〕家にいる時は、古着のTシャツ(1,000シリング)やカンガ(東アフリカの女性が体に巻く布)を巻いていることが多い。通勤にはブラウスにスカートとサンダルといったスタイルが多く、職場では仕事着に着替えている。古着の方が安くいいものが手に入るのことが多いので、新品ではなく古着をよく買う。職場に着ていく服装は、古着のブラウス(約3,000シリング)にスカート。サンダルは新品で5,000シリングと1万シリングのものがある。

〔フォーマル〕教会やお祝い事の際は、キテンゲ(アフリカのプリント布地)で作ったワンピースを着ることが多い。布地を仕立て屋に持ち込み、好きなデザインで作ってもらう。タンザニア製のキテンゲ布は4mで約7,000シリングで、仕立て代は1万~1万5,000シリングである。



妻の普段着



妻の通勤用のブラウスとスカート



キテンゲ布で作ったフォーマル用のワンピース



新品で購入したサンダル

● 長女

〔普段着〕学校の制服は、青いプリーツスカートと白いシャツ、または青いTシャツに白いソックスに黒い革靴(合皮可)。既製品はないので、ユニフォーム用の布地を買い、仕立て屋で作る。布地代と仕立て代で約1万シリングかかる。

制服以外の普段着は、古着のTシャツにスカートなどを着ている。年に一度、クリスマスの際に、子供たちの服を新調する。

調査日に着用していたのは、今年のクリスマスにカリアコーで新品で購入したワンピース(約1万シリング)である。



クリスマスに購入したワンピースを着る長女

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。